

題目：メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）肺炎感染率の実態調査

1. 対象：

2011年10月1日から2011年12月31日までに、大阪大学医学部附属病院において、下気道材料（喀痰など）よりMRSAが検出された51症例

2. 研究機関名：

大阪大学医学部附属病院

3. 目的：

微生物検査において下気道材料（喀痰など）よりMRSAが検出された患者におけるMRSA肺炎感染率を調査します。また、MRSA肺炎補助診断における喀痰性状検査および塗抹検鏡検査（グラム染色）の有用性を評価します。

4. 方法：

以下の項目をレトロスペクティブに調査します。

- ・カルテ調査：年齢，性別，診療科，入院期間，手術歴，MRSA持込の有無，抗MRSA薬投与の有無，MRSA肺炎の有無（臨床診断）
- ・微生物検査結果：性状検査（Miller & Jones），塗抹検鏡検査（Gecklerの分類，食食像の有無），菌量

5. 意義：

- ・臨床診断にてMRSA肺炎と診断された患者の割合（感染率）が算出できます
- ・MRSA肺炎補助診断としての微生物検査の有用性を評価できます

6. 個人情報の扱い：

研究対象者のデータから氏名等の個人情報を削り、代わりに新しく番号をつけて匿名化を行います。

7. 問い合わせ先：

大阪大学医学部附属病院・臨床検査部（TEL:06-6879-6680）

8. 研究対象者に研究への参加を拒否する権利を与える方法：

上記問合せ先にお電話にて連絡ください。参加を拒否される方のデータはすべて削除いたします。